

# 磐城時報

編輯兼發行 岡田弘成  
印刷所 加納活版所  
發行所 磐城時報社  
一部金貳拾一元月金卅元  
廣告料一行十二字廿五字  
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

## 東北帝大青木博士 撲殺死体を解剖

### 田人村殺人事件後報

(昨報) 田人村の殺人事件二人で前記田人村に移った田人村大字旅人字前山炭の舞木が兎角連子を邪に殺した事件は植田署から久和署長以下急行長三郎を植田署に留置取調べたが犯行をスラ／＼と自白した然しそれでも流石に犯した罪の恐ろしさに差入れ辨當さへロク／＼手をつけず打ち沈んでゐる。十日平検査所所長の敷地にて神式により地檢證を行ひ、一方きよ(小泉支配人、藤村工場長、四ツ)の屍体は同日大脇(小野町長、福本築港所長、事、久和植田署長等が立會ひ東北帝大青木博士執刀の下に解剖に附し、更に犯人の内妻五十嵐コウ(三四)も植田署に留置し當時の様を調べてゐる。

## 中野有禮社長を迎へ 日本水素地鎮祭

### 九日小名濱町で執行

日本水素工業株式會社小名濱工場建設の地鎮祭は九日午前十一時から小名濱町元町に於て執行、中野社長、熊谷常務、小野町長、福本築港所長、西山校長、八巻署長、高屋稅務署長、田中土木監督所長、山崎泉譯長、小名濱町議長、古川鮫川疏水代表、工事請負關係、其他各方面代表の玉串奉奠後中野社長挨拶あり、終つて現場で祝宴を張り午後一時散會した。

## 焼死を装ふ

舞木と内妻コウは會津で炭焼きをしてゐた當時二年前に殺されたコウの遺子キヨミ

## 鎌田橋存置 齋藤君戦死

鎌田橋は廢止となり取毀さるゝ運命になつたので既報つた、同君は應召前緒苗代谷村長が連署で存置の陳情書を白河署に勤めてゐる。を縣に行つたが縣では地元妻たみ(三〇)さんとの間に希望を容れそのまゝ存置男の子二人がある。

## 厚盛丸無事 自力で修理成り歸航

江名町中作吉田厚氏所有の出來たので同夜十二時金華大型漁船厚丸(一〇〇噸)山沖東三百七十海附近からは金華山沖で鰐漁に従事中微速を以て最寄の港に向け時化のため機關部に故障を航行してゐる旨通知があつ生じ六日朝潮流中であつた、乗組員一同無事であるが七日の深更に至り漸やく自力で故障を修理する事が出来た。

## 大日本電力で發表した 電氣料引下料金の 從來高率を叫ばれてゐる

昭和七年十二月一日施行の光より高燭光に到る各々五昭電氣事業法に據る第一回の分乃至一割五分の引下があり、其の内十六燭光は二十國一齊に發表されたが、大へ、二十四は三十二と物日本電力株式會社では左の如く値引する等の苦心も同如く料金を低下した。即ち左の如く電力料は動力左に掲ぐる諸料金は總て使用は其便益上將來殆んど通信省の認可によるもので從廉取引になるべきを見越總体に料金徴收種目の廢止せるものが此方面に最低料又は輕減を行ったもので、を引下、且つ「キョウワット」特に定額電料料金は低燭時二割乃至二割五分程度の引下をなして居る。定額電料料金の表示には器具損料と點火料とを別々に表示するものと、之れを併合して表示するものと二つの方法がある。同會社の表示は後者に屬するから器具損料を別に徴収する會社よりは其れに支低額となる譯である。其他電料計器損料の取付料を全廢、電料計器損料を徴收せざる等は他の同業者に比し出色ありと見るべく、之れを縣下の福島電力、會津電力等の諸會社に比し總體上の需用家負擔は低位になることとなるであらう。従て從來縣下の大會社中での最高料金會社と言はれてゐたものと躍進的更改と見らるべきであらう。

ワット時分ノ料金

一、定額電力料金(一月)	三〇、〇〇
二、從量料金	一、〇〇
三、電氣力料金	一、〇〇
四、電氣力料金	一、〇〇
五、電氣力料金	一、〇〇
六、電氣力料金	一、〇〇
七、電氣力料金	一、〇〇
八、電氣力料金	一、〇〇
九、電氣力料金	一、〇〇
十、電氣力料金	一、〇〇
十一、電氣力料金	一、〇〇
十二、電氣力料金	一、〇〇
十三、電氣力料金	一、〇〇
十四、電氣力料金	一、〇〇
十五、電氣力料金	一、〇〇
十六、電氣力料金	一、〇〇
十七、電氣力料金	一、〇〇
十八、電氣力料金	一、〇〇
十九、電氣力料金	一、〇〇
二十、電氣力料金	一、〇〇
二十一、電氣力料金	一、〇〇
二十二、電氣力料金	一、〇〇
二十三、電氣力料金	一、〇〇
二十四、電氣力料金	一、〇〇
二十五、電氣力料金	一、〇〇
二十六、電氣力料金	一、〇〇
二十七、電氣力料金	一、〇〇
二十八、電氣力料金	一、〇〇
二十九、電氣力料金	一、〇〇
三十、電氣力料金	一、〇〇
三十一、電氣力料金	一、〇〇
三十二、電氣力料金	一、〇〇
三十三、電氣力料金	一、〇〇
三十四、電氣力料金	一、〇〇
三十五、電氣力料金	一、〇〇
三十六、電氣力料金	一、〇〇
三十七、電氣力料金	一、〇〇
三十八、電氣力料金	一、〇〇
三十九、電氣力料金	一、〇〇
四十、電氣力料金	一、〇〇
四十一、電氣力料金	一、〇〇
四十二、電氣力料金	一、〇〇
四十三、電氣力料金	一、〇〇
四十四、電氣力料金	一、〇〇
四十五、電氣力料金	一、〇〇
四十六、電氣力料金	一、〇〇
四十七、電氣力料金	一、〇〇
四十八、電氣力料金	一、〇〇
四十九、電氣力料金	一、〇〇
五十、電氣力料金	一、〇〇

## 隣保館建設資金に 一千圓を寄附

鹽屋山崎與三郎翁の遺志 市内古鍛冶町山崎與三郎氏百二十三名は國民精神總動(清三氏製名)は先代與三郎員週間の五、六兩日の能翁の遺志により平市社會事業増進會に際し受けた特別助成會の隣保館建設資金別賞金二十一圓十五錢を、として一千圓を寄附した。鹽屋町市役所吏員佐藤伊太郎氏は一圓五十錢を何れも片倉製糸工場従業員四托した。

## 盲目の幼児が 焚火に轉落慘死

磐崎村上湯長谷字力石日雇ルに開き出征軍人家族慰問業定治孫桑原イチセツは六の件について協議した。日午前十一時頃屋外で遊戯中焚火に轉落大火傷を負ひ九日朝死亡した。

## 石城町村長會

石城町村長會は十日午前各警察署管下の自動車車體検査は来る廿三日から三日間市内八幡小路検査場で

りよ日五月二十

七五三祝着と  
歳末大賣出し

特賣品  
松山紺カスリ 一圓七十錢  
パラマント新柄 一圓五十錢  
白時兩毛ネール(一丈) 八十錢  
名古屋帯 一圓五十錢均一  
銘仙 二圓均一

平市 三井吳服店  
電話三〇八番 248番

可愛らしいお子様方  
七五三御祝品  
種々取揃へました

に ツルヤ

竹林賣却廣告

一、三寸竹 大凡三百束  
一、六寸竹 大凡三千本  
一、所在地 永戸村大字上永井字迎田

右立木ノマ、ニテ賣却仕度候間買入御希望ノ節ハ實地御覽被下候上ニテ價格協定仕度候  
尙現地御調査ノ際ハ上永井字迎田熊谷春次氏方弊社囑託技師中新井氏ヲ御尋ね被下候ハ、詳細御案内申上可ク候  
昭和十二年十二月

平市字一丁目二十一番地  
石城林業株式會社  
社長 鷹崎 正 見  
電話三五七番  
人夫三人入用

煉炭 各種 特價販賣  
豆炭

薪炭大暴騰ノ折カラ御家庭ノ經濟燃料トシテ御勵メ致シマス

平 驛 前  
阿部石炭商店  
電話三十七番

忘年会  
新年會

には 小籠  
常磐線湯本驛  
鐵道指定旅館  
小籠鑛泉  
電話小名濱〇三

モーター 修理販賣  
變壓器

平月見町  
佐藤鐵工所  
(電話三六二)

事務員募集可成簿記に經驗あるもの

和洋銅鐵金物問屋  
金屋商店

議橋久太郎  
電話九九番

移轉お知らせ  
洋服店 正札堂  
電話四三六番

お洋服は今が買時です  
生地は優秀、柄は流行、而も値段は超安値  
此の三拍子揃つた弊店の勉強振りをおためしを  
然も仕立はお誂へと同様、寸法は特別に各種取  
揃へ、必ず御満足の戴ける當店自慢の大サ  
ビスです。

シモヤケ家傳藥

是までシモヤケは暖かくならねば治らぬものご諦めて居つたのが一日二、三日の御使用でクツれたシモヤケも忘れた様に治ります。

現今の塗薬と異り療法により根本から除去するものであります。シモヤケは寒さの爲になるもので塗薬では決して治るものではありません。又クツレタンシモヤケに塗薬では塗布と同時に痛みを感じたりカニミを増したり致しますが、此薬は無刺戟の中に心地良い療法により皮下の血行を良くし幼き御子様方にも喜ばれて如何にクツレタンシモヤケでも完全に全治致す事を保證致します。  
是非一度御試して下さい。

東京市丸井邦寶堂  
福島 兩縣特約販賣 伊藤石炭店  
茨城 平市一丁目 電話三四九番

債券 賣買  
質物一般 多田井商店

平市 大工町  
電話 五九一  
振替 仙台一五三九

魚清自慢の  
なべ料理

鳥なべ。ちりなべ  
よせなべ。ねぎなべ  
かきなべ。はもなべ  
あんこなべ

出前も迅速に致します  
平三善 魚清食堂  
電話 六三三番

御得意の御禮に！  
パーマネントウエーブは！

今や…世界的流行であります  
お値段(四圓…全部) 普通通

◆時間の經濟と能率増進  
◆時代の要求するパーマネント  
◆今が絶好のチャンス  
現狀維持では……  
時代に取殘されませう。

御婚禮御着付 大サービズに  
和洋結髪 最新美容法を研究し  
オゾン美容術 その奥義を  
美爪術 修得致して参りました。  
白赤毛染

水野化粧院  
水野 冬子  
平市驛前 電六七八  
自宅 電五二五